

# 働き方改革に取り組む株式会社永谷園茨城工場

## ～茨城労働局長がベストプラクティス企業を職場訪問～

11月の「過重労働解消キャンペーン」にあわせ、11月19日(火)、福元俊成茨城労働局長は、働き方改革に積極的に取り組む株式会社永谷園茨城工場(高萩市赤浜)を訪問しました。



同工場では、お茶漬けのり、ふりかけ、みそ汁などの調味玉(顆粒)の製造と包装作業を行っています。社員およそ100名のうち半数は女性であり、①ノー残業DAYの呼び掛けや電子掲示板を用いた見える化などによる時間外労働の削減、②パート社員の正社員登用や監督者育成など、女性の活躍・両立支援、③年次有給

休暇の計画的取得の促進、④特別休暇であるサポート休暇制度の充実などの取組を進めています。特に有給休暇取得率は、83.0%に達しています(2018年度)。このほか、安全衛生の取組も、働き方改革の一つと位置付け、積極的に進められています。

当日、茨城労働局長は、取組の説明を受けて、関口裕工場長、木村浩臣本社人事部長、小川美朋同広報部長と意見交換を行いました。また、正社員登用、監督者育成、時間短縮勤務の対象となった社員の方々とも懇談し、当事者としての意見、生の声を伺いました。



関口工場長(右)から説明を受ける福元局長(左)



意見交換



製造工程説明



社員懇談

## 取 組 の 内 容

### ① 時間外労働の削減

- ・ノー残業DAYの啓発活動  
他の平日と比較して時間外労働は17%減(2018年上期)  
電子掲示板を用いた各人の時間外労働時間の見える化

### ② 年次有給休暇取得促進

- ・月1回の計画的取得  
2018年取得率83.0%(前年度比5ポイントの向上)

### ③ ダイバーシティ推進(女性の活躍・両立支援)

- ・パート社員の正社員登用  
(女性)2017年度4名、2018年度1名  
(男性)2018年度2名
- ・職位転換によるラインリーダー(監督者)育成  
2018年度3名
- ・新卒ラインリーダー(監督者)採用  
2019年度1名
- ・子育て期間の時間短縮勤務制度  
2019年度1名

### ④ 社員満足の取組み

- ・サポート休暇(年次有給休暇以外の休暇4日)  
家族団らん(誕生日、入学式等)、ボランティア、自己啓発  
取得率73%(2018年度)

### ⑤ 安全衛生面での取組み

- ・床滑り転倒防止処理の推進(滑りにくい床にするための塗装の実施)
- ・労災事故防止を目的としたサークル活動
- ・安全道場(労災事故疑似体験)での安全教育研修

### 【今後に向けた取組】

以前から女性を積極的に採用し、女性社員が多く、企業としての依存度が高い。  
よって、多様性をさらに広めていくことが必要。  
職種による制約等はあるが、登用制度のほか、新たな勤務制度の導入やIT環境の整備などによって、よりフレキシブルな勤務環境を志向していく。